

デジタル時代における漢字教育 Teaching Kanji in the Digital Age

小室リー郁子, トロント大学
Ikuko Komuro-Lee, University of Toronto

1. はじめに

本研究の目的は、端末を用いて表記される日本語テキストの中で「中華フォント」と呼ばれる字体が出現する現状とその背景を述べ、デジタル時代における漢字教育について考える具体的な資料を提示することである。

デジタル時代の今、日本語教育の現場では学習者が日本語で発表スライドを作ったり、作文をタイプして提出したりすることが容易にできるようになった。一方、教室の外では、学習者は様々な学習アプリを使い、YouTube等で字幕がついた動画を見ている。かつて日本国外の学習者が目にする文字は、教師がタイプや手書きしたものが大部分を占めていたが、現在では教師の知らないところで学習者はネット上にあふれる文字に触れ、常に日本語を見て学ぶことができるようになった。しかし、その中に混在しているかもしれない中華フォントについては、多くの場合、タイプした本人も、またそのテキストを目にする者も、その存在に気づいていない。本研究では、『初級日本語げんき』の漢字317字を分析対象に、文字学習において中華フォントが影響を及ぼす可能性のある文字を特定し、日本語教育の現場で教師が指導に取り入れたり、学習者に提示したりできる具体的な資料を提供する。

「中華フォント」は、IT用語辞典バイナリで「日本語のテキストにおいて表示されることがある、中国語圏で用いられる漢字の字体・字形の通称」と定義されている。しかし、「中華」という語からは「中国語の中で使用されているフォント」といった誤解を招きかねないため、本研究では「日本語の表記に使用される、日本語の活字に似た文字（字体）」という意味で、「（日本語の）擬似字体」という独自の用語を使用する。

2. 日本語の擬似字体を取り巻く現状

私たちが電子機器で打ち出す文字はすべてに固有の文字コードが振られており、あらかじめそのコードで登録されている文字が画面上に映し出される。現在世界中で広く使用されているUnicode (ISO/IEC 10646) では世界中の文字にそれぞれ異なったコードがあてられているが、中国（大陸）、台湾、香港、韓国、ベトナムで作成されている字体は統合（CJK 統合漢字）され、その中には字体間の違いが看過された結果、図 1⁽¹⁾のように日本語の字体との間に違いが存在する文字に対しても同じ文字コードが振られている。

そして、このような擬似字体が、日本語テキストが作成された端末や、テキストを表示する端末の言語環

図 1 日本語の「画」「過」と同じ文字コードの字体

Unicode	中国	香港	台湾	日本	韓国
753B	画	画	画	画	画
904E	過	過	過	過	過

ISO/IEC (2020:786)
ISO/IEC (2020:959)

境等によって図2や図3のように日本語テキストの中に現れる。図2は朝日新聞のニュースレターを北米仕様のスマートフォンで見た画像を切り取ったもの、図3は北米仕様のパソコン上での表示で、動画下のテロップ部分で擬似字体が見られる。いずれの端末も第一言語の設定は英語になっている。

こういった現象は、海外で 사용되는端末においてのみ観察されているのではない。国内の日本語話者の間では、海外で作成された日本語のウェブサイトやゲーム等に「擬似字体（中華フォント）が散見されることが指摘されてきた⁽²⁾。

擬似字体は、漢字によっては中国語で使われる字体の場合（すなわち、中国語の字体）もあれば、中国語を表記する際には使われ

ず、あくまで日本語テキストの中でのみ現れるというものもある。すなわち、後者の場合、日本語でも中国語でも用いられない不思議な文字として、日本語テキストの中でのみ出現する。例えば、日本語の「過」は中国（大陸）では簡体字の「过」が、台湾や香港では日本語と同じ字体が使われており、図4の擬似字体はいずれの言語においても使われていない。しかし、図2のように日本語テキストの中で事例を確認することができる。

ここで擬似字体が出現する背景を端末との関係について整理しておこう。擬似字体の出現は、図5のように、日本語テキストを作成する端末での言語環境と、日本語テキストが表示される端末の言語環境によって左右される。

図5①でテキスト作成者の端末において、第一言語が日本語に設定されていない場合、日本語の擬似字体が表示されうる。例えば、学習者が作成した文書に擬似字体が見られるのは（A）のケースであることが多い。

一方、図5②の自分以外がテキストの作成者の場合、作成者の端末で日本語が第一言語であっても自分の端末で日本語以外の言語が優先されている場合、日本語の擬似字体が出現しうる。例えば、教師が作成した、メールや、ワードやエクセル等の文書、ウェブ上にあるLSM等のテキストは、教師の端末では擬似字体が見られなくても、学習者の端末で見ると擬似字体が混在していることがある。これが（B）のケースである。さらに、作成者の端末で日本語が優先されていな

図2 朝日新聞 朝ニュースレター
(2025年8月16日付)より

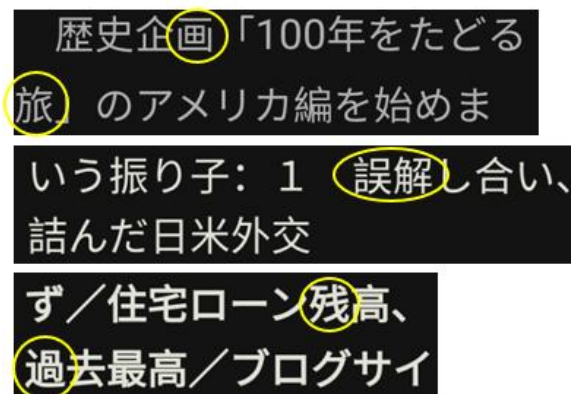


図3 YouTube 画像 (2025年7月25日撮影)より

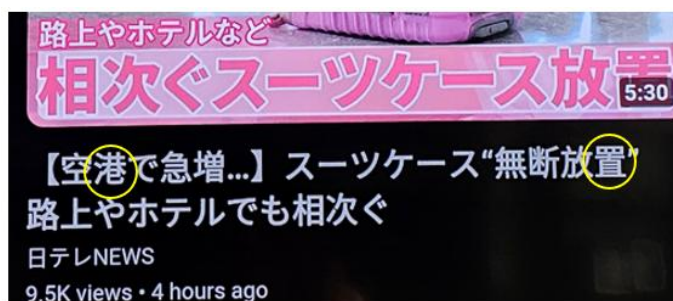
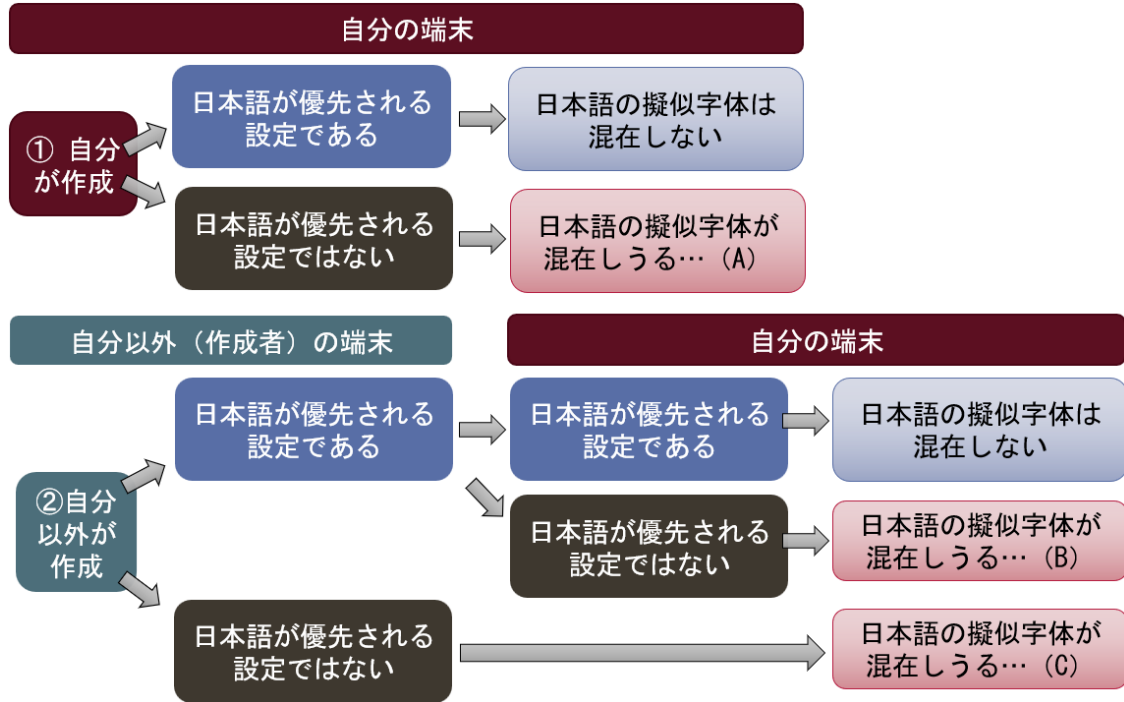


図4 「過」
の擬似字体

過

い場合は、自分の端末で日本語が優先されていても擬似字体が表示されてしまう。YouTubeの自動翻訳テキスト、日本国外で制作されたウェブページやゲーム等に擬似字体が見られるのが、このケース（C）にあたる。

図5 日本語の擬似字体が出現する背景と端末との関係



3. 先行研究

擬似字体の出現は、Unicodeが漢字文化圏の文字を統合させたことにより引き起こされており、これに関連する研究は情報科学の分野に見ることができる。

安岡・安岡（2017）は、日本語の常用漢字と、それに対応する中国（大陸）、香港、台湾、韓国の漢字コードをまとめた対照表を作成している。日本語と、各地域の言語を使用するのに用いられている字体との対照表は、管見の限り安岡・安岡（2017）の他に類がなく、日本語教育現場で有効活用できる資料となっている。しかしながら、この研究はそれぞれの言語で実際に使用されている字体とUnicodeを対照させ比較分析を行ったもので、擬似字体については言及されていない。

Unicodeの漢字統合とそれが引き起こしている問題については、プログラマへの解説書である矢野（2019）に詳しい。しかし、矢野（2019）は日本語環境で日本語を扱うプログラマの視点で述べているため、擬似字体の問題について「現実にUnicodeを実装した製品では、日本語環境では日本の、中国語環境では中国語用のフォントが選択されるのでそうした現象は目立って発生していません」

（2019:110）と述べている。ここでは、一つの端末で日常的に複数の言語を使用

し、日本語を第一言語に設定することができない日本語学習者のようなユーザーのケースは想定されていない。

一方、日本語教育の観点で擬似字体を取り上げた研究には、小室リー (2022) がある。小室リー (2022) は常用漢字 2136 字を対象に、共通の部位を持つ漢字と擬似字体 (中華フォント) との特徴に焦点をあて、両者間に見られる違いを「活字部位異形度」という指標を作成して分類を試みている。しかし、具体的にどのような違いが見られるかについての記述は、旧 JLPT の 3 級漢字の一部にとどまっており、また分類結果が教育現場で容易に使用できるようには整理されていない。

そこで、本研究では、広く使用されている初級総合教科書の漢字を対象に、日本語で一般に使用されている複数の活字字体と手書き文字のバリエーションを擬似字体と比較し、そこに違いが確認されるものを網羅的に挙げ、両者の違いが容易にわかるような形で提示することを目標とした。その際、擬似字体が日本語で使用される一般的な活字の字体と異なっても、手書きのバリエーションとしてリストされている字形に同じものが見られる場合は、両者は同じ字体であると判断した。それは、本研究の目的が、あくまで学習者が擬似字体を見て日本語の字体 (特に書き方) として学んだ際に問題となりうる文字であるかどうかという点が最も重要だと考えたためである。

4. 分析の概要

4.1 分析対象

分析は、『初級日本語げんきI』と『初級日本語げんきII』 (いずれも第3版。以下、『げんき』) において学習漢字として掲載されている 317 字のうち「々」を除く 316 字と、それらと同じ文字コードで表示される中国 (大陸)、香港、台湾の字体を対象とした。分析に用いた資料は次の通りである。

日本語の文字資料

- a. 文化庁 (2010) 「常用漢字表 (平成 22 年内閣告示第 2 号)」
- b. 文化庁編 (2017) 『常用漢字表の字体・字形に関する指針 文化審議会国語分科会報告 (平成 28 年 2 月 29 日)』
- c. 安岡孝一・安岡素子 (2017) 『日本・中国・台湾・香港・韓国の常用漢字と漢字コード』

中国 (大陸) ・香港・台湾の文字資料

- d. 「通用规范汉字表」 (2013)
- e. 「通用规范汉字笔顺规范」 (2020)
- f. 香港小學學習字詞表 (ウェブ資料)
- g. 國字標準字體筆順學習網 (ウェブ資料)
- h. 「標準字與簡化字對照手冊」 (2011)

Unicode

- i. ISO/IEC (2020). ISO/IEC 10646 Information Technology – Universal coded character set (UCS). 6th edition.
- j. Unicode (ウェブ資料)

4.2 分析手順

まず、資料の a と b を用いて日本語の活字と手書きのバリエーションを特定し、日本語と同じ Unicode で表示される中国（大陸）、香港、台湾の活字を資料 i と j で特定した。さらに、それらの字体を資料 d から h を用いて確認し、日本語との字体との間に違いが見られる擬似字体の特定と分類を行った。

5. 分析結果

5.1 結果の概要

分析対象 316 字のうち、端末の環境等によって擬似字体となって出現しうる文字は次の 45 字（『げんき』提出順）であった。結果の詳細は資料を参照されたい。

時飲帰電読次後雨雪持 画所勉旅起料特飯着港 海英急夏寺
全週以写真図館春花様 漢茶最若待残変調化横

日本の字体と擬似字体との差異は、微細なもの（例えば、一方で交差していない部位が他方では僅かに交差が見られる等）から、総画数が変わる、点画の配置が異なる等、視覚的に顕著な違いが見られるものまで多岐に渡る。ただし、同じ部位を持つ文字には擬似字体で共通した特徴が現れる傾向（例えば、「寺」の部位が共通する「時」、「持」、「待」では擬似字体の特徴が共通）があり、パターンの学習が有効に働くことも示唆された。

また、擬似字体の特徴と出現の有無には、字体の地域（中国、香港、台湾）差が認められた。例えば、「急」は、香港・台湾の字体が出現した場合、図 6 の擬

図 6 「急」
の繁体字



似字体が表示されるが、中国（大陸）の字体が出現しても日本語の字体との間に違いがなく擬似字体にはならない。

それに対して、「画」では、前掲の図 1 のように中国（大陸）、香港、台湾のどの字体が出現した場合でも、日

本語とは異なる擬似字体が表示される。

『げんき』の漢字では、表 1 のように擬似字体が香港・台湾の字体に見られるケースが最も多く（15 字）、次いで台湾のみ（14 字）、そして中国（大陸）・香港・台湾の 3 地域すべてに見られるケース（11 字）と続いた。この結果から、日本語テキストに擬似字体が混在しているか否かを見極めるには、複数の文字を確認する必要が

表 1 擬似字体の地域差

擬似字体において日本語の字体と異なる部位	漢字数
中国・香港・台湾が共通	11
中国・香港が共通	1
中国・台湾が共通	1
香港・台湾が共通	15
中国のみ	5
香港のみ	4
台湾のみ	14

あることが示唆される。ある文字を見て、擬似字体が表示されていないなくても、別の文字では擬似字体となっている場合があるからである。

5.2 擬似字体の特徴

擬似字体はその特徴によって次の a から f に分類することができた。

- a) 線のつながり：日本語で 2 画の部位が 1 画に、あるいはその逆になっている
- b) 線の角度：垂直、水平、斜めのいずれかの線の角度が日本語と異なる
- c) 線の長短：並行する二本の線の長短が日本語と異なる
- d) 接点での交差：二本の線の交差の有無が異なる
- e) 接点での接触：二本の線の接触の有無や向きが異なる
- f) 部位：文字の一部（かたまりとして取り出せる部位）の形・配置が異なる

一つの文字に複数の特徴が観察されるケースも見られた。例えば、「漢」は中国（大陸）、香港、台湾のいずれの地域の字体でも擬似字体⁽³⁾となり、図 7 のように、右部位の上部（黄色い部分）と下部（ピンクの部分）にそれぞれ「f. 部位」と「d. 接点での交差」の特徴が見られた。全体を見ると、この f と d の特徴のあるものが、それぞれ 13 字、15 字あり、全体の中で最も多かった。詳細は、資料の「差異の特徴」を参照されたい。

図 7 擬似字体



また、中国（大陸）、香港、台湾で中国語の表記に実際用いられている字体と擬似字体とを比較した結果、「帰」、「読」、「図」の擬似字体（図 8）は、いずれの地域で使用されている字体（表 2）とも異なっており、これらの擬似字体はどの言語・地域においても使用されない字体（前掲の図 4 「過」の擬似字体と同様）であることが明らかになった。

図 8 擬似字体



また、中国（大陸）、香港、台湾で中国語の表記に実際用いられている字体と擬似字体とを比較した結果、「帰」、「読」、「図」の擬似字体（図 8）は、いずれの地域で使用されている字体（表 2）とも異なっており、これらの擬似字体はどの言語・地域においても使用されない字体（前掲の図 4 「過」の擬似字体と同様）であることが明らかになった。

6. 考察とむすび

本分析で対象とした 316 字のうち擬似字体が現れる文字が全体に占める割合は大きくない。しかし、学習者が端末に表示される日本語の文字に触れる機会は多く、今後それが減少することはないだろう。また、擬似字体は、Unicode における CJK 統合漢字の問題が根本的に解決され

表 2 それぞれの言語で実際に使用されている字体

日本	中国（大陸）	香港	台湾
帰	归	歸	歸
読	读	讀	讀
図	图	圖	圖

れない限り、日本語テキストに出現し続ける。学習者が、自分では日本語をタイプしているつもりであるにも関わらず擬似字体の混在するテキストを産出してしまったり、擬似字体を手本に日本語の文字の書き方を学習したりする可能性があることを考えると、現在のデジタル環境での日本語学習には、擬似字体についての基礎的な知識が不可欠だと考える。学習者の使用言語が中国語である場合、日本語テキストの中で普段自分が使っているのと同じ字体を見れば、彼らは日本語

と中国語は同じなのだと理解し、一方、異なっていた場合、日本語の字体はこれなのだと判断する。また、使用言語が中国語でない学習者の場合、日本語テキストの中で表記されている漢字は、すべて日本語の漢字だと理解するだろう。いずれの場合も、擬似字体の知識がなければその存在を疑う余地はなく、自ら気づいて対処することができない。だが、自分の見ている、特に、自分がタイプした日本語テキストに擬似字体が混在していることがわかれば、一時的に優先する言語を変更したり、日本語のフォントを選ぶことによって、擬似字体が表示されないテキストに変更することは可能である。そのためには、教師として、彼らに擬似字体の存在を学ぶ機会を提供できることが重要であろう。そして、教師自身が擬似字体の全体像を把握するには、本研究での分析対象をさらに広げ教育現場で使いやすい資料を提供できるようにすることが必要だと考えている。

一方で、本分析で擬似字体に分類した文字について、どの程度の差異があれば、それを取り上げ指導対象とすべきかという判断は、個々の教師に委ねるほかない。文字教育に対するビリーフや教育現場で必要とされる状況によって指導の内容は変わりうる。また、天沼（1981:61）が「両者の文字の上で、どの部分が、どういうふうに、どの程度まで形が違っていても、両者は字体が異なるとは認められず、単に文字として実現した場合の、形の違いにすぎないものなのか、どの程度以上異なっていれば、単に字形の違いではなく、字体が違っていると認めるべきかを、一般的、共通的に定めることは極めて難しい」と述べているように、何を「違い」として認識するか共通理解を得るのは非常に難しい。極論を言えば、多少点画の位置が違っていてもどの文字かがわかれば問題はない、擬似字体も一つの字形のバリエーションだと考えればよいという立場もあるだろう。しかし、その一方で教育現場によっては今も手書きが重要視され、点画の細かな配置や違いが取り上げられる現状も存在している。今後デジタル時代がさらに進む中で、擬似字体の存在と向き合いながら、日本語の漢字教育はどうあるべきか、活発な議論が進むことを期待したい。

謝辞

CAJLE2025年次大会においてオンラインによる発表を可能にしてくださり、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

脚注

(1) 図1ではベトナムの字体を省略している。

(2) インターネット上では「なぜ日本語テキストが中国語っぽいフォントに化けるのか」（2025年2月14日付）、「中華フォントはどうにかならないか？」

（2023年6月5日付）、「iOSで日本語文章に発生する中華フォント現象とは」

（2018年1月15日付）といった見出しで議論されているのを見ることが出来る。（2025年9月14日最終アクセス）

(3) 日本語テキストの中で出現する擬似字体の「漢」（図7）は香港・台湾では中国語の表記に使用されている。一方、中国（大陸）で使用されているのは簡体字の「汉」である。

参考文献

- 天沼寧（1981）「日中漢字字体対照表」『大妻女子大学文学部紀要』13, 59-82
- 小室リー（2022）「日本の字体が正しく表示されない常用漢字の実態—共通の部位を持つ文字に見られる特徴に焦点をあてて—」. Proceedings of the 29th Central Association of Teachers Japanese Conference (CATJ29). pp.65-84. <https://publish.illinois.edu/catj29uiuc/files/2022/10/CATJ29-Proceedings.pdf>.
- 文化庁（2010）「常用漢字表（平成22年内閣告示第2号）」（内閣告示）
https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/naikaku/kanji/
（2025年8月11日ダウンロード）
- 文化庁編（2017）『常用漢字表の字体・字形に関する指針 文化審議会国語分科会報告（平成28年2月29日）』三省堂
- 安岡孝一・安岡素子（2017）『日本・中国・台湾・香港・韓国の常用漢字と漢字コード』<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/218381>（2017年7月20日ダウンロード）
- 矢野啓介（2019）『プログラマのための文字コード技術入門』第2版 技術評論社

Weblio 辞書 IT用語辞典バイナリ：<https://www.weblio.jp/cat/computer/binit>（2025年8月14日最終アクセス）

<教科書>

- 『初級日本語 げんき I』第3版（2020）The Japan Times
『初級日本語 げんき II』第3版（2020）The Japan Times

<文字コード>

ISO/IEC (2020). *ISO/IEC 10646 Information Technology – Universal coded character set (UCS)*. 6th edition.
Unicode: home.unicode.org（2025年8月11日最終アクセス）

<地域の文字資料>

中国

- 「通用规范汉字表」（2013）
http://www.moe.gov.cn/jyb_sjzl/ziliao/A19/201306/t20130601_186002.html
（2022年3月18日ダウンロード）
- 「通用规范汉字笔顺规范」（2020）
http://www.moe.gov.cn/jyb_sjzl/ziliao/A19/202103/W020210318300204215237.pdf
（2025年8月17日最終アクセス）

香港

香港小學學習字詞表：https://www.edbchinese.hk/lexlist_ch/index.jsp (2025年8月17日最終アクセス)

台湾

國字標準字體筆順學習網：https://stroke-order.learningweb.moe.edu.tw/home.do?lang=zh_TW (2025年8月17日最終アクセス)

「標準字與簡化字對照手冊」(2011) <http://ws.moe.edu.tw/001/Upload/userfiles/標準字對照簡化字.pdf> (2022年3月18日ダウンロード)

資料

『初級日本語 げんき』(2020)の漢字
日本の字体と差異が見られる擬似字体

	GENKI 漢字 番号	漢字	Unicode	Unicodeが共通する字体 (背景が濃い青の文字が擬似字体)				中国語の表記に使用されている字体		
				中国	香港	台湾	差異の特徴	中国(大陸)	香港	台湾
1	15	時	6642	時	時	時	c	时	時	時
2	43	飲	98F2	飲	飲	飲	b	饮	飲	飲
3	71	帰	5E30	帰		帰	d	归	歸	歸
4	79	電	96FB	電	電	電	b, d	电	電	電
5	83	読	8AAD	読		読	f	读	讀	讀
6	85	次	6B21	次	次	次	b	次	次	次
7	88	後	5F8C	後	後	後	d	后	後	後
8	92	雨	96E8	雨	雨	雨	b	雨	雨	雨
9	110	雪	96EA	雪	雪	雪	b, d	雪	雪	雪
10	115	持	6301	持	持	持	c	持	持	持
11	124	画	753B	画	画	画	d	画/划	畫/劃	畫/劃
12	127	所	6240	所	所	所	f	所	所	所
13	128	勉	52C9	勉	勉	勉	a	勉	勉	勉
14	131	旅	65C5	旅	旅	旅	f	旅	旅	旅
15	136	起	8D77	起	起	起	f	起	起	起
16	148	料	6599	料	料	料	e	料	料	料
17	150	特	7279	特	特	特	c	特	特	特
18	152	飯	98EF	飯	飯	飯	b, b	饭	飯	飯
19	157	着	7740	着	着	着	a	着	着	著
20	159	港	6E2F	港	港	港	f	港	港	港

	GENKI 漢字 番号	漢字	Unicode	Unicodeが共通する字体 (背景が濃い青の文字が擬似字体)			差異の特徴	中国語の表記に使用されている字体		
				中国	香港	台湾		中国(大陸)	香港	台湾
21	161	海	6D77	海	海	海	a	海	海	海
22	168	英	82F1	英	英	英	f	英	英	英
23	171	急	6025	急	急	急	d	急	急	急
24	182	夏	590F	夏	夏	夏	d	夏	夏	夏
25	184	寺	5BFA	寺	寺	寺	c	寺	寺	寺
26	197	全	5168	全	全	全	e	全	全	全
27	200	週	9031	週	週	週	d	周	週	週
28	209	以	4EE5	以	以	以	a	以	以	以
29	218	写	5199	写		写	d	写	寫	寫
30	219	真	771F	真	真	真	f	真	真	真
31	236	囟	56F3	囟		囟	f	图	圖	圖
32	237	館	9928	館	館	館	b	馆	館	館
33	241	春	6625	春	春	春	d	春	春	春
34	244	花	82B1	花	花	花	d, f	花	花	花
35	245	様	69D8	様		様	d	样	樣	樣
36	249	漢	6F22	漢	漢	漢	d, f	汉	漢	漢
37	259	茶	8336	茶	茶	茶	e, f	茶	茶	茶
38	270	最	6700	最	最	最	e	最	最	最
39	279	若	82E5	若	若	若	f	若	若	若
40	294	待	5F85	待	待	待	c	待	待	待
41	295	残	6B8B	残		残	f	残	殘	殘
42	307	変	5909	変		变	d	变	變	變
43	311	調	8ABF	調	調	調	d	调	調	調
44	314	化	5316	化	化	化	d	化	化	化
45	315	横	6A2A	横		横	d	横	*横	横

使用フォント:

日本: UD Digi Kyokasho NK-R

中国: Sim Sun

香港: Noto Sans HK

台湾: PMingLiU

*「横」(香港)は表示文字の「田」が「由」の字形